

子ども神楽～磨かれた技に感動～

11月24日（土）、清川の神楽会館で「第2回豊後大野市子ども神楽大会」が開催されました。出場団体は、浅草犬山神楽保存会、緒方子ども神楽クラブ、上寺・立宿神楽保存会、川辺子ども神楽、松尾子ども神楽、清川子ども神楽保存会の6団体でした。

どの団体も素晴らしい舞を披露してくれました。週1～2日の少ない練習時間の中、参加している子どもたち皆さんが力を合わせ、技を磨き、日頃の練習の成果を発揮しました。観衆の皆さんは、口々に「すごいなあ。よく練習している」「激しい舞を体の芯をしっかりとさせ舞っている」「一生懸命で気持ちいい」と称賛のことばを発していました。

さすがです。豊後大野市の子どもたちのエネルギーは、半端ないです。迫力のある舞だったので、観ていた私も子どもたちと一緒に舞っているような気分になりました。太鼓や鐘の音も最高でした。皆さん、お疲れ様でした。

また、上寺（かみてら）・立宿（たちやどり）神楽は、高千穂町から参加していただきました。鎮（しず）かなやさしい舞でした。



さて、2017年6月14日、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークが登録されました。祖母・傾・大崩山系は、標高が高く原始的な天然林が多く残され、独特な景観美を有する地域です。民俗芸能の伝承や保存活動を支援し、次世代の担い手を育成することを目的に、この事業を行っています（エコパークの詳細については、またの機会に触れます）。

これからも多くの豊後大野っ子に、伝承活動を通し、豊かな自然溢れる郷土への誇りを持ってほしいと願っています。